

## グループの旗

Bコース: 1 グループ

グループのネーミング

モモコガ

シンボルマーク



R 6 年 3 月 26 日

チーフアドバイザー

市川

アドバイザー

福田

## 役割分担

No	役 割	氏 名	会 社 名
1	リーダー	水田 梨咲	三菱電機
2	サブリーダー	堀江 智成	デンソーウェーブ
3	発表者	富田 瑛	花井製作所
4	質問者	常盤 武士	トヨタ紡織
5	書記 1	篠田 聡真	サニエ
6	書記 2	村里 祐樹	アイシン機工
7	時間係・5 S	中村 瞭	伊藤精工
8			
9			

## グループの決め事

No	内 容	評 価
1	みんなが積極的に発言する	○
2	みんなで時間を守る	○
3	<del>意見</del> 意見を批判しない	○
4	楽しい雰囲気づくり	○
5	1人1発言	○

★活動終了時に全員で評価を実施します

★評価は、○、△、×等で記入

※全ての資料は大きく濃い字で書きましょう！

## チェックシート(現状把握用)

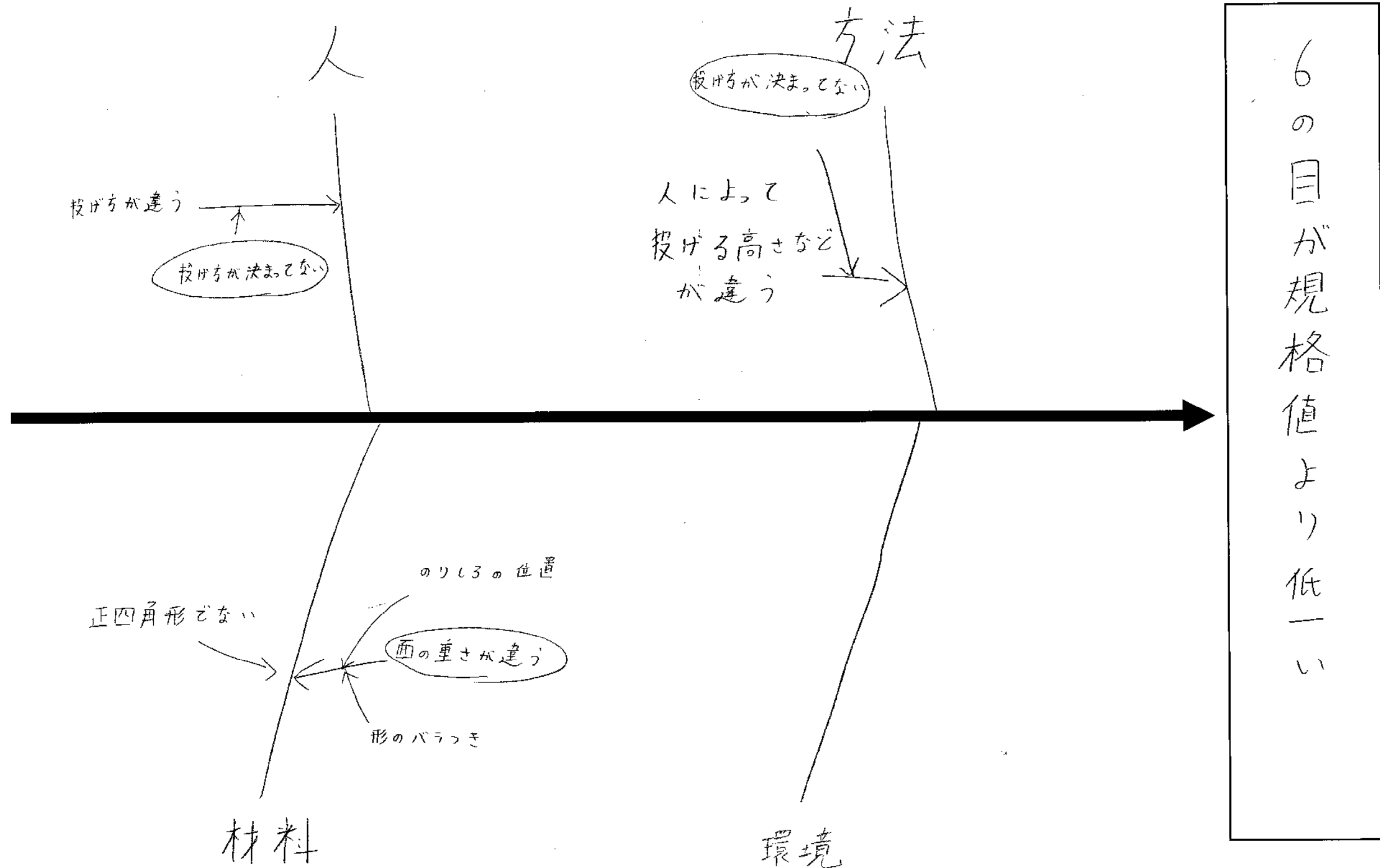
Bコース: 1 グループ

目 氏名	サイコロの出目の数						計
	1	2	3	4	5	6	
水岡	### ///	/	### /	///	///	////	25
堀江	////	### ///	//	###	/	###	25
常盤	###	###	### /	###	////		25
中村	///	###	////	### /	////	///	25
計	20	<del>20</del> 19	18	19	12	12	100
%	20	19	18	19	12	12	

※グループで、2～3人が投げて、合計＝100回のデータをとる。

## 要因の解析

\* 特性要因図を使って要因を絞り込む

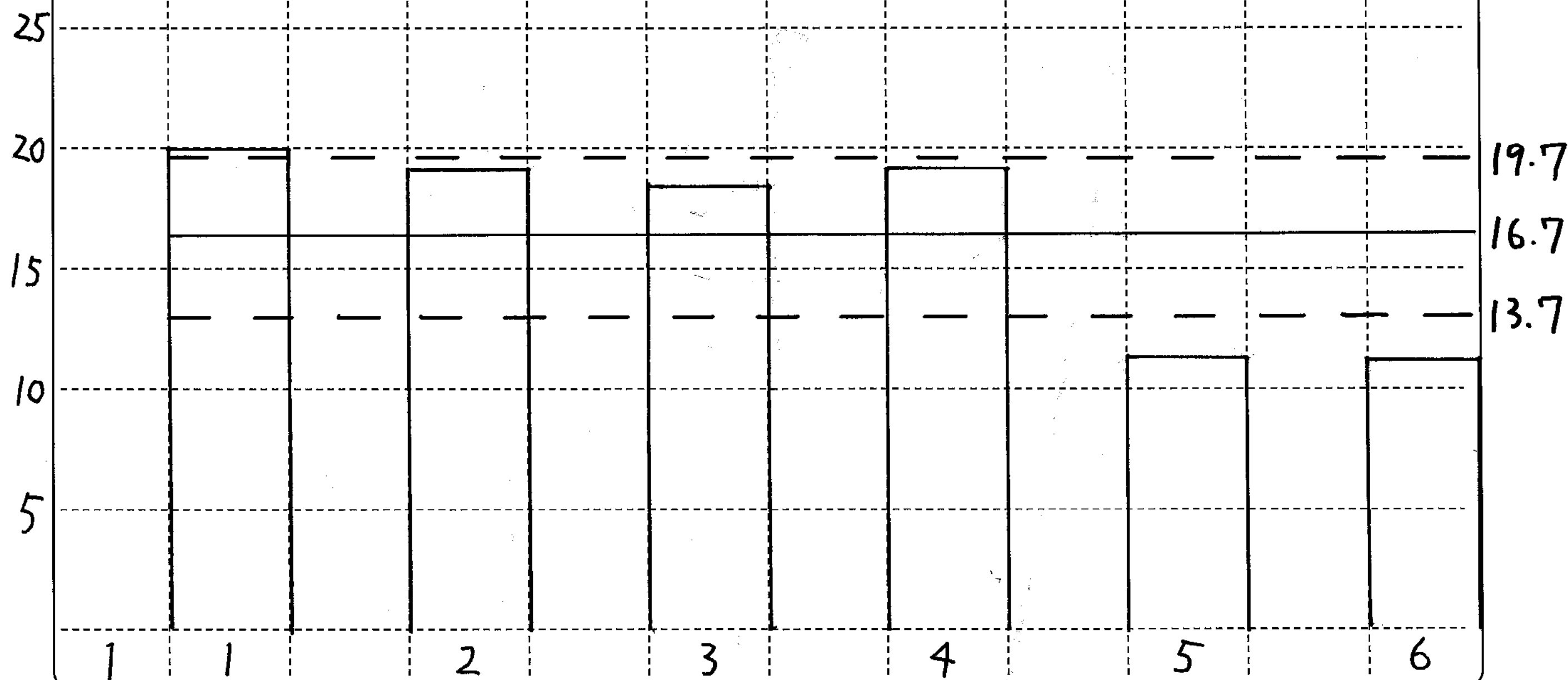


## 現状の把握と目標設定

- \* 検査結果を棒グラフで表す。
- \* 規格と比較する。

- \* 目標値を決める。

~~5.6~~を検査規格幅  
16.7%±3%に入れ  
バラツキをなくす



# 対策の立案・検討と実施

\* 系統図法・マトリックス図法を使って対策立案、検討

\* アイデアをたくさん出す

◎3点 ○2点 △1点

1次

2次

6の目を規格値に入れるには

投げ方決める

面の向きを決める

投げ人固定

のりしろ面を均等にする

面の重さも均等にする

	効果	実現性	コスト	
投げる人を決める(中村)	◎	◎	◎	9 ☆
1の目を上にして投げる	○	◎	○	57
上の面を1~6にして投げる	○	◎	○	57
のりしろ面を全面にする	◎	△	○	56
のりしろ面をなくす	◎	◎	○	8 ☆
面を1枚ずつ作成する	◎	○	△	6

## チェックシート(効果確認用)

Bコース:      グループ

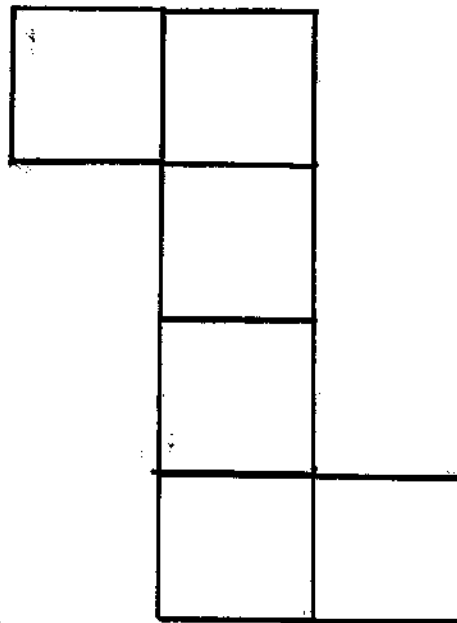
目 氏名	サイコロの出目の数						計
	1	2	3	4	5	6	
中村	### //	### ///	### ////	### ///	### //	### /	100
計	17	18	14	18	17	16	100
%	17	18	14	18	17	16	

※グループで、2～3人が投げて、合計＝100回のデータをとる。

## 効果の確認

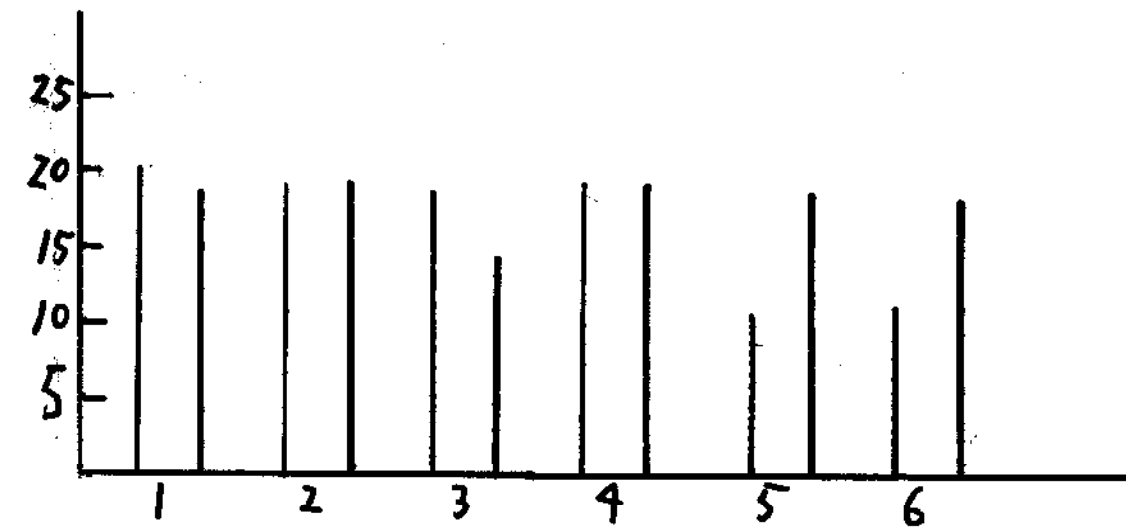
\* 工作図など活用

【対策後のサイコロ説明】



\* 棒グラフで対策前と対策後の差が見えるように  
また、目標に対してどうだったのかを記入する

【対策後の目標との比較】



Bコース: / グループ

## まとめ

(1)標準化(有効な対策を記録しておく。何をどうする)

誰でも同じ物が作れるように要領書を作成する

投げ方を手順書に落とし

(2)活動の評価(研修を通して学んだことなど)

QC手法のやり方を学んだ

特性要因図で対策の活用方法を学んだ

(3)反省と今後の進め方

(今回の研修を今後どう活かしていくかなど)

QC手法のやり方を学んだので

自職場場でのサークル活動で活かしていく